



## 平成23年2月期 第1四半期決算短信

平成22年7月5日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社 フジ

コード番号 8278 URL <http://www.the-fuji.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 英雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 開発・管理本部長 (氏名) 大内 健二 TEL 089-922-8112

四半期報告書提出予定日 平成22年7月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年2月期第1四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第1四半期	74,584	△3.1	367	6.1	447	57.8	125	10.3
22年2月期第1四半期	77,025	—	346	—	283	—	114	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第1四半期	3.56	—
22年2月期第1四半期	3.23	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第1四半期	157,656	54,208	34.3	1,536.38
22年2月期	157,964	54,912	34.7	1,556.32

(参考) 自己資本 23年2月期第1四半期 54,208百万円 22年2月期 54,912百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	7.50	—	7.50	15.00
23年2月期	—	—	—	—	—
23年2月期 (予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	149,250	△3.1	450	△49.4	300	△66.3	50	△87.0	1.41
通期	294,500	△2.7	2,000	△20.0	1,800	△30.2	700	△23.6	19.83

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期第1四半期 35,300,560株 22年2月期 35,300,560株

② 期末自己株式数 23年2月期第1四半期 17,493株 22年2月期 17,439株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 23年2月期第1四半期 35,283,102株 22年2月期第1四半期 35,284,712株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、全体としては景気底打ちの兆しがみられるものの、雇用不安や所得の低迷が続くなど、小売業を取り巻く環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のなかで、当社グループ(当社及び連結子会社)は、「中四国流通ネットワーク構想」のもと、地域の豊かなくらしづくりと地域社会の発展に貢献できる企業集団を目指し、「フジカンパニーズ」各社の有する経営資源を最大限に活用し、地域社会に貢献できる魅力あるSC(ショッピングセンター)づくりに努めました。

これらの結果、当第1四半期の営業収益は745億84百万円(前年同期比3.1%減)となりました。営業利益は3億67百万円(前年同期比6.1%増)、経常利益は4億47百万円(前年同期比57.8%増)、四半期純利益は1億25百万円(前年同期比10.3%増)となりました。

事業部門別の状況は、次のとおりです。

【小売事業部門】

総合小売業におきましては、経営方針「顧客満足の追求と利益重視の徹底」のもと、「コアビジネスの確立」、「商品力の強化」、「現場(店舗)販売力の強化」、「ローコスト経営の徹底」、「人と組織の活性化」に取り組みました。

商品につきましては、ユニー株式会社、イズミヤ株式会社と協業し、低価格で品質も重視した共通のPBブランド「Style ONE」の販売など価格競争力のある商品の充実を図りました。一方で、地域のニーズに的確に応えるために、地場商品の積極的導入をはじめ地域特性に応じた品揃え・売り場づくりに努めました。

店舗につきましては、3月に小商圏型のSM(スーパーマーケット)「ヴェスタ白島店」(広島市中区)を新設、「ヴェスタ新南陽店」(山口県周南市)を新設(建替え)するとともに、「フジグラン松山」隣接地にスポーツクラブ「フィッタ松山」(愛媛県松山市)を新築移転しました。さらに、平成23年秋のリニューアルオープンにむけて「フジグラン広島」(広島市中区)のスクラップアンドビルドを進めています。一方で、5月に「ピーエフ観音寺店」(香川県観音寺市)を閉店いたしました。

また、お客様の多様化するライフスタイルに対応するために、インターネット販売「フジネットショップ」に加え、4月より松山市の一部地域でネットスーパー「おまかせくん」を開設いたしました。

DVD・CD・書籍の小売及びレンタル業におきましては、単独店舗を1店舗新設いたしました。なお、フジ・TSUTAYA・エンターテイメント株式会社は、当期より連結子会社に含めています。

これらの結果、この部門の営業収益は745億68百万円(前年同期比3.0%減)となりました。

【小売周辺事業部門】

食品製造・加工販売業におきましては、株式会社セトスイ・フードサービスに当社のデリカ事業を統合し、3月1日より「株式会社フジデリカ・クオリティ」として事業を開始しました。製造・商品開発・販売を一体運営することにより、デリカ事業における店頭競争力の強化や収益力の向上を図りました。

飲食業におきましては、当社SCのテナントとして2店舗、単独店舗を2店舗新設いたしました。

これらの結果、この部門の営業収益は52億86百万円(前年同期比1.4%増)となりました。

## 【その他事業部門】

不動産賃貸業におきましては、不動産賃貸料の抑制など、厳しい経営環境で推移いたしました。これらの結果、この部門の営業収益は2億71百万円(前年同期比4.4%減)となりました。

(注) 事業部門別の営業収益には、売上高及び営業収入を含み、事業部門間の取引も含んでいます。また、記載金額には消費税等を含めていません。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が7億8百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ3億7百万円減少し1,576億56百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金が29億26百万円増加し、一方、長期借入金が26億52百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ3億96百万円増加し1,034億48百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ7億3百万円減少し542億8百万円となりました。

### (2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」につきましては、税金等調整前四半期純利益3億26百万円に含まれる非資金損益項目の減価償却費11億45百万円、固定資産除売却損益37百万円等の調整と、増加要因として、仕入債務の増加額28億33百万円等があり、43億69百万円の収入(前年同期は58億94百万円の収入)となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」につきましては、有形及び無形固定資産の取得(設備関係支払手形決済等を含む)による支出が23億62百万円等があり、28億29百万円の支出(前年同期は6億95百万円の支出)となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」につきましては、短期借入れによる収入(純額)が10億49百万円、長期借入金の返済による支出が33億14百万円等があり、25億29百万円の支出(前年同期は28億94百万円の支出)となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は77億59百万円となり、期首から7億8百万円減少いたしました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年4月12日に発表した第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便的な会計処理

1) たな卸資産の評価方法

四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっています。

2) 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しています。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しています。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,779	8,487
受取手形及び売掛金	1,421	1,215
営業貸付金	5,866	6,103
商品	12,888	10,359
その他	2,623	2,458
貸倒引当金	△444	△458
流動資産合計	30,134	28,166
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	47,395	46,705
土地	29,288	29,288
その他(純額)	4,620	4,571
有形固定資産合計	81,304	80,564
無形固定資産		
投資その他の資産	5,873	5,636
差入保証金	13,396	13,368
建設協力金	10,336	10,775
その他	16,635	19,475
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	40,344	43,596
固定資産合計	127,522	129,797
資産合計	157,656	157,964
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,409	17,482
短期借入金	12,361	11,913
未払法人税等	224	580
賞与引当金	1,726	969
商品券回収損引当金	55	54
その他	9,921	9,969
流動負債合計	44,698	40,969
固定負債		
長期借入金	42,291	44,943
退職給付引当金	1,204	1,180
役員退職慰労引当金	187	185
利息返還損失引当金	572	563
長期預り保証金	14,083	14,379
その他	410	829
固定負債合計	58,749	62,082
負債合計	103,448	103,052

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,921	15,921
資本剰余金	16,257	16,257
利益剰余金	21,751	22,270
自己株式	△31	△31
株主資本合計	53,898	54,417
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	309	494
評価・換算差額等合計	309	494
純資産合計	54,208	54,912
負債純資産合計	157,656	157,964

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
売上高	72,972	70,457
売上原価	56,402	54,467
売上総利益	16,569	15,990
営業収入		
不動産賃貸収入	1,504	1,508
その他の営業収入	2,548	2,617
営業収入合計	4,053	4,126
営業総利益	20,622	20,116
販売費及び一般管理費	20,276	19,748
営業利益	346	367
営業外収益		
受取利息	92	83
受取配当金	69	73
持分法による投資利益	—	20
その他	153	233
営業外収益合計	316	411
営業外費用		
支払利息	309	287
持分法による投資損失	31	—
商品券回収損引当金繰入額	14	16
その他	23	26
営業外費用合計	378	331
経常利益	283	447
特別利益		
固定資産売却益	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
固定資産除売却損	27	37
減損損失	—	0
投資有価証券評価損	—	25
差入保証金解約損	—	14
店舗解約損失	—	42
特別損失合計	27	120
税金等調整前四半期純利益	259	326
法人税等	145	201
四半期純利益	114	125

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	259	326
減価償却費	1,078	1,145
減損損失	—	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6	△14
その他の引当金の増減額 (△は減少)	884	769
受取利息及び受取配当金	△162	△157
支払利息	309	287
持分法による投資損益 (△は益)	31	△20
固定資産除売却損益 (△は益)	24	37
店舗解約損失	—	42
売上債権の増減額 (△は増加)	△246	△193
たな卸資産の増減額 (△は増加)	410	△604
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,430	2,833
その他	165	648
小計	6,179	5,102
利息及び配当金の受取額	132	140
利息の支払額	△283	△343
店舗解約に伴う違約金の支払額	—	△42
法人税等の支払額	△133	△488
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>5,894</b>	<b>4,369</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△42	△0
貸付けによる支出	△110	—
貸付金の回収による収入	69	66
長期前払費用に係る支出	△3	△896
その他の投資に係る支出	△179	△110
その他の投資に係る収入	460	474
有形及び無形固定資産の取得による支出	△892	△2,362
有形及び無形固定資産の売却による収入	3	—
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△695</b>	<b>△2,829</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	413	1,438
短期借入金の返済による支出	△462	△389
長期借入金の返済による支出	△2,578	△3,314
自己株式の取得による支出	△2	△0
配当金の支払額	△264	△264
その他	△0	△0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,894</b>	<b>△2,529</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,304	△989
現金及び現金同等物の期首残高	8,359	8,467
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	280
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>10,664</b>	<b>7,759</b>

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。